



アプリケーション

Astra Automation

NetApp
September 02, 2026

目次

アプリケーション	1
Astra API (ACC) アプリのエンドポイント	1
管理対象クラスター用の新しいアプリを作成する	1
パラメータ	1
要求の本文	1
応答	7
応答	21
応答	22
応答	22
応答	23
エラー	23
用語の意味	24
管理対象クラスターのアプリを一覧表示する	37
パラメータ	37
応答	38
応答	39
応答	39
応答	40
エラー	41
用語の意味	41
管理対象クラスターのアプリを取得します	64
パラメータ	64
応答	64
応答	81
応答	81
応答	82
エラー	83
用語の意味	83
管理対象クラスター用のアプリを変更する	93
パラメータ	93
要求の本文	94
応答	107
応答	107
応答	107
応答	108
応答	108
エラー	109
用語の意味	109
管理対象クラスターのアプリを削除する	118

パラメータ	118
応答	119
応答	119
応答	119
応答	120
応答	120
応答	121
エラー	121
用語の意味	122
新しいアプリを作成する	122
パラメータ	122
要求の本文	123
応答	128
応答	142
応答	143
応答	143
応答	144
エラー	144
用語の意味	145
すべてのアプリを一覧表示	158
パラメータ	158
応答	159
応答	160
応答	160
応答	161
エラー	162
用語の意味	162
アプリを取得する	185
パラメータ	185
応答	185
応答	202
応答	202
応答	203
エラー	204
用語の意味	204
アプリを変更する	214
パラメータ	214
要求の本文	214
応答	228
応答	228
応答	228

応答	229
応答	229
エラー	230
用語の意味	230
アプリを削除する	239
パラメータ	239
応答	240
応答	240
応答	240
応答	241
応答	241
応答	242
エラー	242
用語の意味	243

アプリケーション

Astra API (ACC) アプリのエンドポイント

App API は、Astra で管理されていないアプリケーションを含む Kubernetes アプリケーションを表します。

管理対象クラスター用の新しいアプリを作成する

POST /accounts/{account_id}/topology/v2/managedClusters/{managedCluster_id}/apps

作成するアプリ API リソースの希望値を指定します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
managedCluster_id	string	path (パス)	True	包含するmanagedClusterリソースのID

要求の本文

作成するアプリ API リソースの希望値を指定します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-app"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバーサル攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
clusterScopedResources	配列 ["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列 ["namespaceScopedResources"]	False	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リストア処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーションストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-app",
  "version": "2.2",
  "name": "jenkins",
  "clusterID": "0f284377-e5dc-4dcd-bacd-3197f2b8a347",
  "namespaceScopedResources": [
    {
      "namespace": "production"
    }
  ]
}
```

応答

Status: 201, Returns the newly created app resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： "application/astra-app"

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
リンク	配列["type_astra_link"]	True	リソースに対してサポートされている操作を説明するリンク。
名前	string	True	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバース攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
clusterScopedResources	配列["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列["namespaceScopedResources"]	True	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列

Name	を入力します	必須	説明
lastResourceCollectionTimestamp	string	False	最後にリソース収集が実行された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。このフィールドは、このアプリケーションに対してまだリソース収集が実行されていない場合は設定されません。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - アプリケーションは検出がスケジュールされています • 「discovering」 - アプリケーションは現在検出中です • 「provisioning」 - アプリケーションは現在プロビジョニング処理中です • 「ready」 - アプリケーションは正常に動作しています • 「failed」 - アプリケーションが永続的な失敗状態にあります • 「復元中」 - アプリケーションはバックアップまたはスナップショットから復元されています • 「unavailable」 - アプリケーションは現在アクセスできません • 「不明」 - アプリケーションの状態を判断できません • 「削除中」 - アプリケーションは削除処理中です

Name	を入力します	必須	説明
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	アプリケーションの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「保護されています」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠しています • 「部分的」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「なし」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されていません • 「atRisk」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていないため、アプリケーションはサポートされていないボリュームを取得するリスクがあります
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
appDetectedType	string	False	検出された特定のアプリケーションの種類を一意に表すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「system」 - アプリケーションには、Kubernetes環境の一部であることを識別するリソースが含まれています。 「acc」 - アプリケーションには、それがAstra Control Centerインスタンスであることを識別するリソースが含まれています
ネームスペース	array[string]	True	アプリケーションが実行されている名前空間の名前を含むJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リストア処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーションストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
clusterName	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	False	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「gke」 - Google Kubernetes Engine (GKE) 上でホストされるKubernetes • 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service (AKS) 上でホストされるKubernetes • 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) 上でホストされるKubernetes • "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift • 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterName	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
replicationSourceAppID	string	False	このアプリケーションに複製されるアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在AppMirror関係のデスティネーション クラスタであり、その関係がfailedOver状態でない場合にのみ返されます。関係がfailedOver状態の場合、このフィールドは返されません。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-app",
```

```

"version": "2.2",
"id": "39c1c79f-efab-5357-88fb-20e628c4dd96",
"links": [],
"name": "jenkins",
"namespaceScopedResources": [
  {
    "namespace": "production",
    "labelSelectors": []
  }
],
"state": "pending",
"stateDetails": [],
"protectionState": "none",
"protectionStateDetails": [],
"namespaces": [
  "production"
],
"clusterName": "GKE-22",
"clusterID": "0f284377-e5dc-4dcd-bacd-3197f2b8a347",
"clusterType": "kubernetes",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",

```

```
"title": "Missing bearer token",
"detail": "The request is missing the required bearer token.",
"status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
```

```
"type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
"title": "JSON resource conflict",
"detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with
an idempotent value.",
"status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

GVK

Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。

- このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	True	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	True	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	True	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

clusterScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
GVK	"GVK"	True	Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。 このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。
labelSelectors	array[string]	False	クラスタ内のクラスターグループGroupVersionKinds (GVK) のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、クラスタ上のすべてのGVKインスタンスが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	True	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソース クラスタ上のネームスペース名を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
を参照してください。	string	True	デスティネーション クラスタ上のネームスペースの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

storageClassMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソースストレージクラスの名前を含むJSON文字列。すべてのソースストレージクラスを指定する場合は、「*」を指定することもできます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • Storage Class名が使用されている場合、DNS 1123 Label Schemaに準拠します • '*' を指定してすべてのストレージクラスを指定します

Name	を入力します	必須	説明
を参照してください。	string	True	デスティネーション ストレージ クラスの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

GVKN

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

Name	を入力します	必須	説明
ネームスペース	array[string]	False	リソースを含めるか除外するかを指定する名前空間を記述するJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
名前	array[string]	False	選択的復元を含めるか除外するかを指定するKubernetesリソース名を記述したJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
labelSelectors	array[string]	False	選択的リストアからリソースを含めるか除外するかを決定するために使用されるKubernetesラベルセレクタを記述するJSON文字列のJSON配列。この配列の各要素はKubernetesラベルセレクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	True	リソースフィルタがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。
GVKN	配列["GVKN"]	True	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列[" type_astra_label "]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

targetSchema

accept-post

accept-put

ヒント

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	False	
許可する	array[string]	False	
accept-post	"accept-post"	False	
権限	array[string]	False	
accept-put	"accept-put"	False	

type_astra_link

Name	を入力します	必須	説明
rel	string	True	
href	string	True	
を入力します	string	False	
targetSchema	"targetSchema"	False	
タイトル	string	False	
ヒント	"ヒント"	False	

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	True	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	True	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	False	リソースフィルターがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。

Name	を入力します	必須	説明
GVKN	配列["GVKN"]	False	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

管理対象クラスタのアプリを一覧表示する

GET /accounts/{account_id}/topology/v2/managedClusters/{managedCluster_id}/apps

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
managedCluster_id	string	path (パス)	True	包含するmanagedClusterリソースのID
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 ： "include=id"、 "include=id,name" OpenAPI の例： "id" • 例： id、 name、 state
制限 (Limit)	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例： "limit=2" OpenAPI の例： "2"

Name	を入力します	入力	必須	説明
フィルタ	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。 サポートされているオペレータは次のとおりです： • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 URLの例 ： "filter=field%20eq%20%27value%27" OpenAPI の例 ： 「field eq 'value'」

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか ： "app_2.2_get_response_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-apps",
  "version": "2.2",
  "items": [
```

```
[
  "2ff50f4b-fe40-4980-913f-8a4469184822",
  "mysql",
  "ready"
],
[
  "ae1e6561-9e22-406c-8a5a-762f4604da00",
  "jenkins",
  "ready"
]
],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}
```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

targetSchema

accept-post

accept-put

ヒント

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	False	
許可する	array[string]	False	
accept-post	"accept-post"	False	
権限	array[string]	False	
accept-put	"accept-put"	False	

type_astra_link

Name	を入力します	必須	説明
rel	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
href	string	True	
を入力します	string	False	
targetSchema	"targetSchema"	False	
タイトル	string	False	
ヒント	"ヒント"	False	

GVK

Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。

- このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	True	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	True	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	True	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

clusterScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
GVK	"GVK"	True	Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。 このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。
labelSelectors	array[string]	False	クラスタ内のクラスターグループGroupVersionKinds (GVK) のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、クラスター上のすべてのGVKインスタンスが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	True	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	True	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソース クラスタ上のネームスペース名を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
を参照してください。	string	True	デスティネーション クラスタ上のネームスペースの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

storageClassMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソースストレージクラスの名前を含むJSON文字列。すべてのソースストレージクラスを指定する場合は、「*」を指定することもできます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • Storage Class名が使用されている場合、DNS 1123 Label Schemaに準拠します • '*' を指定してすべてのストレージクラスを指定します
を参照してください。	string	True	デスティネーション ストレージ クラスの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

GVKN

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
ネームスペース	array[string]	False	リソースを含めるか除外するかを指定する名前空間を記述するJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
名前	array[string]	False	選択的復元を含めるか除外するかを指定するKubernetesリソース名を記述したJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	選択的リストアからリソースを含めるか除外するかを決定するために使用されるKubernetesラベルセレクタを記述するJSON文字列のJSON配列。この配列の各要素はKubernetesラベルセレクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	False	リソースフィルターがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。

Name	を入力します	必須	説明
GVKN	配列["GVKN"]	False	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

app_2.2_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-app"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
リンク	配列["type_astra_link"]	True	リソースに対してサポートされている操作を説明するリンク。
名前	string	True	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバーサル攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterScopedResources	配列 ["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列 ["namespaceScopedResources"]	True	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
lastResourceCollectionTimestamp	string	False	最後にリソース収集が実行された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。このフィールドは、このアプリケーションに対してまだリソース収集が実行されていない場合は設定されません。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - アプリケーションは検出がスケジュールされています • 「discovering」 - アプリケーションは現在検出中です • 「provisioning」 - アプリケーションは現在プロビジョニング処理中です • 「ready」 - アプリケーションは正常に動作しています • 「failed」 - アプリケーションが永続的な失敗状態にあります • 「復元中」 - アプリケーションはバックアップまたはスナップショットから復元されています • 「unavailable」 - アプリケーションは現在アクセスできません • 「不明」 - アプリケーションの状態を判断できません • 「削除中」 - アプリケーションは削除処理中です

Name	を入力します	必須	説明
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	アプリケーションの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「保護されています」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠しています • 「部分的」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「なし」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されていません • 「atRisk」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていないため、アプリケーションはサポートされていないボリュームを取得するリスクがあります
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
appDetectedType	string	False	検出された特定のアプリケーションの種類を一意に表すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「system」 - アプリケーションには、Kubernetes環境の一部であることを識別するリソースが含まれています。 • 「acc」 - アプリケーションには、それがAstra Control Centerインスタンスであることを識別するリソースが含まれています
ネームスペース	array[string]	True	アプリケーションが実行されている名前空間の名前を含むJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リストア処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーション ストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
clusterName	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	False	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「gke」 - Google Kubernetes Engine (GKE) 上でホストされるKubernetes • 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service (AKS) 上でホストされるKubernetes • 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) 上でホストされるKubernetes • "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift • 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterName	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。 置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
replicationSourceAppID	string	False	このアプリケーションに複製されるアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在AppMirror関係のデスティネーション クラスタであり、その関係がfailedOver状態でない場合にのみ返されます。関係がfailedOver状態の場合、このフィールドは返されません。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

管理対象クラスタのアプリを取得します

GET

/accounts/{account_id}/topology/v2/managedClusters/{managedCluster_id}/apps/{app_id}

JSONレスポンスボディに格納されたApp APIリソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
managedCluster_id	string	path (パス)	True	包含するmanagedClusterリソースのID
app_id	string	path (パス)	True	一覧表示するアプリコレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored App API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-app"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
リンク	配列["type_astra_link"]	True	リソースに対してサポートされている操作を説明するリンク。
名前	string	True	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバース攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
clusterScopedResources	配列["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列["namespaceScopedResources"]	True	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列

Name	を入力します	必須	説明
lastResourceCollectionTimestamp	string	False	最後にリソース収集が実行された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。このフィールドは、このアプリケーションに対してまだリソース収集が実行されていない場合は設定されません。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - アプリケーションは検出がスケジュールされています • 「discovering」 - アプリケーションは現在検出中です • 「provisioning」 - アプリケーションは現在プロビジョニング処理中です • 「ready」 - アプリケーションは正常に動作しています • 「failed」 - アプリケーションが永続的な失敗状態にあります • 「復元中」 - アプリケーションはバックアップまたはスナップショットから復元されています • 「unavailable」 - アプリケーションは現在アクセスできません • 「不明」 - アプリケーションの状態を判断できません • 「削除中」 - アプリケーションは削除処理中です

Name	を入力します	必須	説明
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	アプリケーションの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「保護されています」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠しています • 「部分的」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「なし」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されていません • 「atRisk」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていないため、アプリケーションはサポートされていないボリュームを取得するリスクがあります
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
appDetectedType	string	False	検出された特定のアプリケーションの種類を一意に表すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「system」 - アプリケーションには、Kubernetes環境の一部であることを識別するリソースが含まれています。 「acc」 - アプリケーションには、それがAstra Control Centerインスタンスであることを識別するリソースが含まれています
ネームスペース	array[string]	True	アプリケーションが実行されている名前空間の名前を含むJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リスト処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーションストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
clusterName	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	False	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「gke」 - Google Kubernetes Engine (GKE) 上でホストされるKubernetes • 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service (AKS) 上でホストされるKubernetes • 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) 上でホストされるKubernetes • "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift • 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterName	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
replicationSourceAppID	string	False	このアプリケーションに複製されるアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在AppMirror関係のデスティネーション クラスタであり、その関係がfailedOver状態でない場合にのみ返されます。関係がfailedOver状態の場合、このフィールドは返されません。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-app",
```

```

"version": "2.2",
"id": "39c1c79f-efab-5357-88fb-20e628c4dd96",
"links": [
  {
    "rel": "canonical",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-15bf2154d079/topology/v2/managedClusters/6a358976-c3ac-49aa-b043-9c9b425c90ac/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f"
  },
  {
    "rel": "collection",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-15bf2154d079/topology/v1/clouds/892814c9-77a1-46f3-b54a-82c34cdf0032/clusters/6a358976-c3ac-49aa-b043-9c9b425c90ac/namespaces/da78daf6-8e11-4220-a461-6b1d4a6dc231/apps"
  },
  {
    "rel": "related",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-15bf2154d079/k8s/v1/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f/appBackups",
    "type": "application/astra-appBackup",
    "title": "disruptiveBackup",
    "hints": {
      "allow": [],
      "permissions": [
        "appBackup-create"
      ]
    }
  },
  {
    "rel": "related",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-15bf2154d079/k8s/v1/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f/appBackups",
    "type": "application/astra-appBackup",
    "title": "nonDisruptiveBackup",
    "hints": {
      "allow": [
        "POST"
      ],
      "permissions": [
        "appBackup-create"
      ]
    }
  }
],

```

```

{
  "rel": "related",
  "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v2/apps",
  "type": "application/astra-app",
  "title": "restore",
  "hints": {
    "allow": [
      "POST"
    ],
    "permissions": [
      "app-create"
    ]
  }
},
{
  "rel": "related",
  "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v1/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f/appSnaps",
  "type": "application/astra-appSnap",
  "title": "snapshot",
  "hints": {
    "allow": [
      "POST"
    ],
    "permissions": [
      "appSnap-create"
    ]
  }
},
{
  "rel": "related",
  "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v2/apps",
  "type": "application/astra-app",
  "title": "clone",
  "hints": {
    "allow": [
      "POST"
    ],
    "permissions": [
      "app-create"
    ]
  }
},
{

```

```

    "rel": "related",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v2/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f",
    "type": "application/astra-app",
    "title": "inPlaceRestore",
    "hints": {
      "allow": [
        "PUT"
      ],
      "permissions": [
        "app-update"
      ]
    }
  },
  {
    "rel": "related",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v1/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-
014d5f44a62f/appMirrors",
    "type": "application/astra-appMirror",
    "title": "replication",
    "hints": {
      "allow": [
        "POST"
      ],
      "permissions": [
        "appMirror-create"
      ]
    }
  }
],
"name": "jenkins",
"namespaceScopedResources": [
  {
    "namespace": "production-clone",
    "labelSelectors": [
      "app = jenkins,release = production"
    ]
  }
],
"namespaceMapping": [
  {
    "source": "production",
    "destination": "production-clone"
  }
],

```

```

"state": "ready",
"stateDetails": [],
"protectionState": "none",
"protectionStateDetails": [],
"namespaces": [
  "production-clone"
],
"snapshotID": "8d561930-0437-4647-b3e6-49b8a5362e3d",
"clusterName": "GKE-24",
"clusterID": "0f284377-e5dc-4dcd-bacd-3197f2b8a347",
"clusterType": "kubernetes",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

targetSchema

accept-post

accept-put

ヒント

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	False	
許可する	array[string]	False	
accept-post	"accept-post"	False	
権限	array[string]	False	
accept-put	"accept-put"	False	

type_astra_link

Name	を入力します	必須	説明
rel	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
href	string	True	
を入力します	string	False	
targetSchema	"targetSchema"	False	
タイトル	string	False	
ヒント	"ヒント"	False	

GVK

Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。

- このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	True	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	True	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	True	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

clusterScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
GVK	"GVK"	True	Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。 このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。
labelSelectors	array[string]	False	クラスタ内のクラスターコープGroupVersionKinds (GVK) のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、クラスター上のすべてのGVKインスタンスが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	True	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	True	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソース クラスタ上のネームスペース名を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
を参照してください。	string	True	デスティネーション クラスタ上のネームスペースの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

storageClassMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソースストレージクラスの名前を含むJSON文字列。すべてのソースストレージクラスを指定する場合は、「*」を指定することもできます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • Storage Class名が使用されている場合、DNS 1123 Label Schemaに準拠します • '*' を指定してすべてのストレージクラスを指定します
を参照してください。	string	True	デスティネーション ストレージ クラスの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

GVKN

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
ネームスペース	array[string]	False	リソースを含めるか除外するかを指定する名前空間を記述するJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
名前	array[string]	False	選択的復元を含めるか除外するかを指定するKubernetesリソース名を記述したJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	選択的リストアからリソースを含めるか除外するかを決定するために使用されるKubernetesラベルセレクタを記述するJSON文字列のJSON配列。この配列の各要素はKubernetesラベルセレクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	False	リソースフィルターがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。

Name	を入力します	必須	説明
GVKN	配列["GVKN"]	False	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

管理対象クラスタ用のアプリを変更する

PUT

/accounts/{account_id}/topology/v2/managedClusters/{managedCluster_id}/apps/{app_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
managedCluster_id	string	path (パス)	True	包含するmanagedClusterリソースのID
app_id	string	path (パス)	True	一覧表示するアプリコレクションのID
forceUpdate	string	ヘッダ	False	破壊的な上書きを可能にするフラグ。In Placeリストア (IPR) を要求する場合にのみこれを含めてください。 • 例: true

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-app"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"
ID	string	False	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	False	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバース攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
clusterScopedResources	配列 ["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列 ["namespaceScopedResources"]	False	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列

Name	を入力します	必須	説明
lastResourceCollectionTimestamp	string	False	最後にリソース収集が実行された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。このフィールドは、このアプリケーションに対してまだリソース収集が実行されていない場合は設定されません。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - アプリケーションは検出がスケジュールされています • 「discovering」 - アプリケーションは現在検出中です • 「provisioning」 - アプリケーションは現在プロビジョニング処理中です • 「ready」 - アプリケーションは正常に動作しています • 「failed」 - アプリケーションが永続的な失敗状態にあります • 「復元中」 - アプリケーションはバックアップまたはスナップショットから復元されています • 「unavailable」 - アプリケーションは現在アクセスできません • 「不明」 - アプリケーションの状態を判断できません • 「削除中」 - アプリケーションは削除処理中です

Name	を入力します	必須	説明
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	False	アプリケーションの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「保護されています」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠しています • 「部分的」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「なし」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されていません • 「atRisk」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていないため、アプリケーションはサポートされていないボリュームを取得するリスクがあります
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
appDetectedType	string	False	検出された特定のアプリケーションの種類を一意に表すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「system」 - アプリケーションには、Kubernetes環境の一部であることを識別するリソースが含まれています。 「acc」 - アプリケーションには、それがAstra Control Centerインスタンスであることを識別するリソースが含まれています
ネームスペース	array[string]	False	アプリケーションが実行されている名前空間の名前を含むJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リスト処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーションストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
clusterName	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	False	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「gke」 - Google Kubernetes Engine (GKE) 上でホストされるKubernetes • 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service (AKS) 上でホストされるKubernetes • 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) 上でホストされるKubernetes • "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift • 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterName	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
replicationSourceAppID	string	False	このアプリケーションに複製されるアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在AppMirror関係のデスティネーション クラスタであり、その関係がfailedOver状態でない場合にのみ返されます。関係がfailedOver状態の場合、このフィールドは返されません。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-app",
```

```
"version": "2.2",  
"name": "mysql-old"  
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the app resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{  
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",  
  "title": "Missing bearer token",  
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",  
  "status": "401"  
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

GVK

Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。

- このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

clusterScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
GVK	"GVK"	False	Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。 • このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	クラスタ内のクラスタスコープGroupVersionKinds (GVK) のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、クラスタ上のすべてのGVKインスタンスが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	False	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	False	ソース クラスタ上のネームスペース名を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
を参照してください。	string	False	デスティネーション クラスタ上のネームスペースの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

storageClassMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	False	ソースストレージクラスの名前を含むJSON文字列。すべてのソースストレージクラスを指定する場合は、「*」を指定することもできます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • Storage Class名が使用されている場合、DNS 1123 Label Schemaに準拠します • '*' を指定してすべてのストレージクラスを指定します
を参照してください。	string	False	デスティネーション ストレージ クラスの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

GVKN

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
ネームスペース	array[string]	False	リソースを含めるか除外するかを指定する名前空間を記述するJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
名前	array[string]	False	選択的復元を含めるか除外するかを指定するKubernetesリソース名を記述したJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	選択的リストアからリソースを含めるか除外するかを決定するために使用されるKubernetesラベルセレクタを記述するJSON文字列のJSON配列。この配列の各要素はKubernetesラベルセレクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	True	リソースフィルターがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。

Name	を入力します	必須	説明
GVKN	配列["GVKN"]	True	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

管理対象クラスターのアプリを削除する

DELETE

/accounts/{account_id}/topology/v2/managedClusters/{managedCluster_id}/apps/{app_id}

指定されたアプリAPIリソースを削除します。

副作用

- アプリケーションがまだクラスター上で実行されている場合、そのアプリケーションは管理対象外とみなされ、/apps の下には表示されなくなります。
- まず、アプリケーションは削除状態に移行し、関連するすべてのスケジュール、スナップショット、バックアップ、および保存されているアプリケーション状態を削除します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}

Name	を入力します	入力	必須	説明
managedCluster_id	string	path (パス)	True	包含するmanagedClusterリソースのID
app_id	string	path (パス)	True	一覧表示するアプリコレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the app resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

応答

Status: 500, Internal server error

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/91",
  "title": "Application not deleted",
  "detail": "The application wasn't deleted because of an internal
server issue.",
  "status": "500"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/112",
  "title": "Application not ready",
  "detail": "The application is currently unavailable.",
  "status": "409"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

新しいアプリを作成する

POST /accounts/{account_id}/k8s/v2/apps

作成するアプリ API リソースの希望値を指定します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}

要求の本文

作成するアプリ API リソースの希望値を指定します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-app"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"
名前	string	True	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS 攻撃、Unicode 攻撃、ディレクトリトラバース攻撃、SQL インジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schema に準拠
clusterScopedResources	配列 ["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列 ["namespaceScopedResources"]	False	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リストア処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーションストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-app",
  "version": "2.2",
  "name": "jenkins",
  "clusterID": "0f284377-e5dc-4dcd-bacd-3197f2b8a347",
  "namespaceScopedResources": [
    {
      "namespace": "production"
    }
  ]
}
```

応答

Status: 201, Returns the newly created app resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： "application/astra-app"

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
リンク	配列["type_astra_link"]	True	リソースに対してサポートされている操作を説明するリンク。
名前	string	True	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバース攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
clusterScopedResources	配列["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列["namespaceScopedResources"]	True	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列

Name	を入力します	必須	説明
lastResourceCollectionTimestamp	string	False	最後にリソース収集が実行された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。このフィールドは、このアプリケーションに対してまだリソース収集が実行されていない場合は設定されません。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - アプリケーションは検出がスケジュールされています • 「discovering」 - アプリケーションは現在検出中です • 「provisioning」 - アプリケーションは現在プロビジョニング処理中です • 「ready」 - アプリケーションは正常に動作しています • 「failed」 - アプリケーションが永続的な失敗状態にあります • 「復元中」 - アプリケーションはバックアップまたはスナップショットから復元されています • 「unavailable」 - アプリケーションは現在アクセスできません • 「不明」 - アプリケーションの状態を判断できません • 「削除中」 - アプリケーションは削除処理中です

Name	を入力します	必須	説明
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	アプリケーションの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「保護されています」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠しています • 「部分的」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「なし」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されていません • 「atRisk」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていないため、アプリケーションはサポートされていないボリュームを取得するリスクがあります
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
appDetectedType	string	False	検出された特定のアプリケーションの種類を一意に表すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「system」 - アプリケーションには、Kubernetes環境の一部であることを識別するリソースが含まれています。 「acc」 - アプリケーションには、それがAstra Control Centerインスタンスであることを識別するリソースが含まれています
ネームスペース	array[string]	True	アプリケーションが実行されている名前空間の名前を含むJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リストア処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーションストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
clusterName	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	False	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「gke」 - Google Kubernetes Engine (GKE) 上でホストされるKubernetes • 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service (AKS) 上でホストされるKubernetes • 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) 上でホストされるKubernetes • "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift • 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterName	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
replicationSourceAppID	string	False	このアプリケーションに複製されるアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在AppMirror関係のデスティネーション クラスタであり、その関係がfailedOver状態でない場合にのみ返されます。関係がfailedOver状態の場合、このフィールドは返されません。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-app",
```

```

"version": "2.2",
"id": "39c1c79f-efab-5357-88fb-20e628c4dd96",
"links": [],
"name": "jenkins",
"namespaceScopedResources": [
  {
    "namespace": "production",
    "labelSelectors": []
  }
],
"state": "pending",
"stateDetails": [],
"protectionState": "none",
"protectionStateDetails": [],
"namespaces": [
  "production"
],
"clusterName": "GKE-22",
"clusterID": "0f284377-e5dc-4dcd-bacd-3197f2b8a347",
"clusterType": "kubernetes",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",

```

```
"title": "Missing bearer token",
"detail": "The request is missing the required bearer token.",
"status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
```

```
"type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
"title": "JSON resource conflict",
"detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with
an idempotent value.",
"status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

GVK

Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。

- このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	True	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	True	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	True	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

clusterScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
GVK	"GVK"	True	Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。 このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。
labelSelectors	array[string]	False	クラスタ内のクラスターグループGroupVersionKinds (GVK) のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、クラスター上のすべてのGVKインスタンスが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	True	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソース クラスタ上のネームスペース名を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
を参照してください。	string	True	デスティネーション クラスタ上のネームスペースの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

storageClassMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソースストレージクラスの名前を含むJSON文字列。すべてのソースストレージクラスを指定する場合は、「*」を指定することもできます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • Storage Class名が使用されている場合、DNS 1123 Label Schemaに準拠します • '*' を指定してすべてのストレージクラスを指定します

Name	を入力します	必須	説明
を参照してください。	string	True	デスティネーション ストレージ クラスの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

GVKN

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

Name	を入力します	必須	説明
ネームスペース	array[string]	False	リソースを含めるか除外するかを指定する名前空間を記述するJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
名前	array[string]	False	選択的復元を含めるか除外するかを指定するKubernetesリソース名を記述したJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
labelSelectors	array[string]	False	選択的リストアからリソースを含めるか除外するかを決定するために使用されるKubernetesラベルセレクタを記述するJSON文字列のJSON配列。この配列の各要素はKubernetesラベルセレクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	True	リソースフィルターがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。
GVKN	配列["GVKN"]	True	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列[" type_astra_label "]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

targetSchema

accept-post

accept-put

ヒント

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	False	
許可する	array[string]	False	
accept-post	"accept-post"	False	
権限	array[string]	False	
accept-put	"accept-put"	False	

type_astra_link

Name	を入力します	必須	説明
rel	string	True	
href	string	True	
を入力します	string	False	
targetSchema	"targetSchema"	False	
タイトル	string	False	
ヒント	"ヒント"	False	

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	True	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	True	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	False	リソースフィルターがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。

Name	を入力します	必須	説明
GVKN	配列["GVKN"]	False	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

すべてのアプリを一覧表示

GET /accounts/{account_id}/k8s/v2/apps

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: <code>{{.Account}}</code>
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 : <code>"include=id"</code> 、 <code>"include=id,name"</code> OpenAPI の例: <code>"id"</code> • 例: <code>id</code> 、 <code>name</code> 、 <code>state</code>
制限 (Limit)	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例: <code>"limit=2"</code> OpenAPI の例: <code>"2"</code>

Name	を入力します	入力	必須	説明
フィルタ	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。 サポートされているオペレータは次のとおりです： • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 URLの例 ： "filter=field%20eq%20%27value%27" OpenAPI の例 ： 「field eq 'value'」

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか ： "app_2.2_get_response_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-apps",
  "version": "2.2",
  "items": [
```

```
[
  "2ff50f4b-fe40-4980-913f-8a4469184822",
  "mysql",
  "ready"
],
[
  "ae1e6561-9e22-406c-8a5a-762f4604da00",
  "jenkins",
  "ready"
]
],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}
```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

targetSchema

accept-post

accept-put

ヒント

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	False	
許可する	array[string]	False	
accept-post	"accept-post"	False	
権限	array[string]	False	
accept-put	"accept-put"	False	

type_astra_link

Name	を入力します	必須	説明
rel	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
href	string	True	
を入力します	string	False	
targetSchema	"targetSchema"	False	
タイトル	string	False	
ヒント	"ヒント"	False	

GVK

Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。

- このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	True	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	True	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	True	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

clusterScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
GVK	"GVK"	True	Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。 このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。
labelSelectors	array[string]	False	クラスタ内のクラスターコープGroupVersionKinds (GVK) のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、クラスター上のすべてのGVKインスタンスが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	True	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	True	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソース クラスタ上のネームスペース名を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
を参照してください。	string	True	デスティネーション クラスタ上のネームスペースの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

storageClassMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソースストレージクラスの名前を含むJSON文字列。すべてのソースストレージクラスを指定する場合は、「*」を指定することもできます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • Storage Class名が使用されている場合、DNS 1123 Label Schemaに準拠します • '*' を指定してすべてのストレージクラスを指定します
を参照してください。	string	True	デスティネーション ストレージ クラスの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

GVKN

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
ネームスペース	array[string]	False	リソースを含めるか除外するかを指定する名前空間を記述するJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
名前	array[string]	False	選択的復元を含めるか除外するかを指定するKubernetesリソース名を記述したJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	選択的リストアからリソースを含めるか除外するかを決定するために使用されるKubernetesラベルセレクタを記述するJSON文字列のJSON配列。この配列の各要素はKubernetesラベルセレクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	False	リソースフィルターがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。

Name	を入力します	必須	説明
GVKN	配列["GVKN"]	False	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

app_2.2_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-app"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
リンク	配列["type_astra_link"]	True	リソースに対してサポートされている操作を説明するリンク。
名前	string	True	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバーサル攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterScopedResources	配列 ["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列 ["namespaceScopedResources"]	True	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
lastResourceCollectionTimestamp	string	False	最後にリソース収集が実行された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。このフィールドは、このアプリケーションに対してまだリソース収集が実行されていない場合は設定されません。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - アプリケーションは検出がスケジュールされています • 「discovering」 - アプリケーションは現在検出中です • 「provisioning」 - アプリケーションは現在プロビジョニング処理中です • 「ready」 - アプリケーションは正常に動作しています • 「failed」 - アプリケーションが永続的な失敗状態にあります • 「復元中」 - アプリケーションはバックアップまたはスナップショットから復元されています • 「unavailable」 - アプリケーションは現在アクセスできません • 「不明」 - アプリケーションの状態を判断できません • 「削除中」 - アプリケーションは削除処理中です

Name	を入力します	必須	説明
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	アプリケーションの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「保護されています」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠しています • 「部分的」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「なし」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されていません • 「atRisk」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていないため、アプリケーションはサポートされていないボリュームを取得するリスクがあります
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
appDetectedType	string	False	検出された特定のアプリケーションの種類を一意に表すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「system」 - アプリケーションには、Kubernetes環境の一部であることを識別するリソースが含まれています。 「acc」 - アプリケーションには、それがAstra Control Centerインスタンスであることを識別するリソースが含まれています
ネームスペース	array[string]	True	アプリケーションが実行されている名前空間の名前を含むJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リストア処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーション ストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
clusterName	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	False	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「gke」 - Google Kubernetes Engine (GKE) 上でホストされるKubernetes • 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service (AKS) 上でホストされるKubernetes • 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) 上でホストされるKubernetes • "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift • 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterName	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。 置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
replicationSourceAppID	string	False	このアプリケーションに複製されるアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在AppMirror関係のデスティネーション クラスタであり、その関係がfailedOver状態でない場合にのみ返されます。関係がfailedOver状態の場合、このフィールドは返されません。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されず。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

アプリを取得する

GET /accounts/{account_id}/k8s/v2/apps/{app_id}

JSONレスポンスボディに格納されたApp APIリソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	一覧表示するアプリコレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored App API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-app"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
リンク	配列["type_astra_link"]	True	リソースに対してサポートされている操作を説明するリンク。
名前	string	True	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバース攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
clusterScopedResources	配列["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列["namespaceScopedResources"]	True	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列

Name	を入力します	必須	説明
lastResourceCollectionTimestamp	string	False	最後にリソース収集が実行された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。このフィールドは、このアプリケーションに対してまだリソース収集が実行されていない場合は設定されません。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - アプリケーションは検出がスケジュールされています • 「discovering」 - アプリケーションは現在検出中です • 「provisioning」 - アプリケーションは現在プロビジョニング処理中です • 「ready」 - アプリケーションは正常に動作しています • 「failed」 - アプリケーションが永続的な失敗状態にあります • 「復元中」 - アプリケーションはバックアップまたはスナップショットから復元されています • 「unavailable」 - アプリケーションは現在アクセスできません • 「不明」 - アプリケーションの状態を判断できません • 「削除中」 - アプリケーションは削除処理中です

Name	を入力します	必須	説明
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	アプリケーションの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「保護されています」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠しています • 「部分的」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「なし」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されていません • 「atRisk」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていないため、アプリケーションはサポートされていないボリュームを取得するリスクがあります
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
appDetectedType	string	False	検出された特定のアプリケーションの種類を一意に表すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「system」 - アプリケーションには、Kubernetes環境の一部であることを識別するリソースが含まれています。 「acc」 - アプリケーションには、それがAstra Control Centerインスタンスであることを識別するリソースが含まれています
ネームスペース	array[string]	True	アプリケーションが実行されている名前空間の名前を含むJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リスト処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーションストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
clusterName	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	False	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「gke」 - Google Kubernetes Engine (GKE) 上でホストされるKubernetes • 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service (AKS) 上でホストされるKubernetes • 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) 上でホストされるKubernetes • "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift • 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterName	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
replicationSourceAppID	string	False	このアプリケーションに複製されるアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在AppMirror関係のデスティネーション クラスタであり、その関係がfailedOver状態でない場合にのみ返されます。関係がfailedOver状態の場合、このフィールドは返されません。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-app",
```

```

"version": "2.2",
"id": "39c1c79f-efab-5357-88fb-20e628c4dd96",
"links": [
  {
    "rel": "canonical",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-15bf2154d079/topology/v2/managedClusters/6a358976-c3ac-49aa-b043-9c9b425c90ac/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f"
  },
  {
    "rel": "collection",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-15bf2154d079/topology/v1/clouds/892814c9-77a1-46f3-b54a-82c34cdf0032/clusters/6a358976-c3ac-49aa-b043-9c9b425c90ac/namespaces/da78daf6-8e11-4220-a461-6b1d4a6dc231/apps"
  },
  {
    "rel": "related",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-15bf2154d079/k8s/v1/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f/appBackups",
    "type": "application/astra-appBackup",
    "title": "disruptiveBackup",
    "hints": {
      "allow": [],
      "permissions": [
        "appBackup-create"
      ]
    }
  },
  {
    "rel": "related",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-15bf2154d079/k8s/v1/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f/appBackups",
    "type": "application/astra-appBackup",
    "title": "nonDisruptiveBackup",
    "hints": {
      "allow": [
        "POST"
      ],
      "permissions": [
        "appBackup-create"
      ]
    }
  }
],

```

```

    {
      "rel": "related",
      "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v2/apps",
      "type": "application/astra-app",
      "title": "restore",
      "hints": {
        "allow": [
          "POST"
        ],
        "permissions": [
          "app-create"
        ]
      }
    },
    {
      "rel": "related",
      "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v1/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f/appSnaps",
      "type": "application/astra-appSnap",
      "title": "snapshot",
      "hints": {
        "allow": [
          "POST"
        ],
        "permissions": [
          "appSnap-create"
        ]
      }
    },
    {
      "rel": "related",
      "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v2/apps",
      "type": "application/astra-app",
      "title": "clone",
      "hints": {
        "allow": [
          "POST"
        ],
        "permissions": [
          "app-create"
        ]
      }
    },
    {

```

```

    "rel": "related",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v2/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-014d5f44a62f",
    "type": "application/astra-app",
    "title": "inPlaceRestore",
    "hints": {
      "allow": [
        "PUT"
      ],
      "permissions": [
        "app-update"
      ]
    }
  },
  {
    "rel": "related",
    "href": "/accounts/652f7a18-d4ed-47b2-b467-
15bf2154d079/k8s/v1/apps/27467088-2e99-4bd8-aa9b-
014d5f44a62f/appMirrors",
    "type": "application/astra-appMirror",
    "title": "replication",
    "hints": {
      "allow": [
        "POST"
      ],
      "permissions": [
        "appMirror-create"
      ]
    }
  }
],
"name": "jenkins",
"namespaceScopedResources": [
  {
    "namespace": "production-clone",
    "labelSelectors": [
      "app = jenkins,release = production"
    ]
  }
],
"namespaceMapping": [
  {
    "source": "production",
    "destination": "production-clone"
  }
],

```

```

"state": "ready",
"stateDetails": [],
"protectionState": "none",
"protectionStateDetails": [],
"namespaces": [
  "production-clone"
],
"snapshotID": "8d561930-0437-4647-b3e6-49b8a5362e3d",
"clusterName": "GKE-24",
"clusterID": "0f284377-e5dc-4dcd-bacd-3197f2b8a347",
"clusterType": "kubernetes",
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

targetSchema

accept-post

accept-put

ヒント

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	False	
許可する	array[string]	False	
accept-post	"accept-post"	False	
権限	array[string]	False	
accept-put	"accept-put"	False	

type_astra_link

Name	を入力します	必須	説明
rel	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
href	string	True	
を入力します	string	False	
targetSchema	"targetSchema"	False	
タイトル	string	False	
ヒント	"ヒント"	False	

GVK

Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。

- このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	True	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	True	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	True	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

clusterScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
GVK	"GVK"	True	Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。 このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。
labelSelectors	array[string]	False	クラスタ内のクラスターグループGroupVersionKinds (GVK) のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、クラスタ上のすべてのGVKインスタンスが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	True	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	True	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソース クラスタ上のネームスペース名を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
を参照してください。	string	True	デスティネーション クラスタ上のネームスペースの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

storageClassMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	True	ソースストレージクラスの名前を含むJSON文字列。すべてのソースストレージクラスを指定する場合は、「*」を指定することもできます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • Storage Class名が使用されている場合、DNS 1123 Label Schemaに準拠します • '*' を指定してすべてのストレージクラスを指定します
を参照してください。	string	True	デスティネーション ストレージ クラスの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

GVKN

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
ネームスペース	array[string]	False	リソースを含めるか除外するかを指定する名前空間を記述するJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
名前	array[string]	False	選択的復元を含めるか除外するかを指定するKubernetesリソース名を記述したJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	選択的リストアからリソースを含めるか除外するかを決定するために使用されるKubernetesラベルセレクタを記述するJSON文字列のJSON配列。この配列の各要素はKubernetesラベルセレクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	False	リソースフィルターがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。

Name	を入力します	必須	説明
GVKN	配列["GVKN"]	False	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

アプリを変更する

PUT /accounts/{account_id}/k8s/v2/apps/{app_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	一覧表示するアプリコレクションのID
forceUpdate	string	ヘッダ	False	破壊的な上書きを可能にするフラグ。In Placeリストア（IPR）を要求する場合にのみこれを含めてください。 • 例：true

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-app"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "2.0" • "2.1" • "2.2"
ID	string	False	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	False	アプリケーション名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバース攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
clusterScopedResources	配列 ["clusterScopedResources"]	False	このアプリに含まれるクラスタを対象としたリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列
namespaceScopedResources	配列 ["namespaceScopedResources"]	False	このアプリに含まれるリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列

Name	を入力します	必須	説明
lastResourceCollectionTimestamp	string	False	最後にリソース収集が実行された日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。このフィールドは、このアプリケーションに対してまだリソース収集が実行されていない場合は設定されません。定義された値は次のとおりです： • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - アプリケーションは検出がスケジュールされています • 「discovering」 - アプリケーションは現在検出中です • 「provisioning」 - アプリケーションは現在プロビジョニング処理中です • 「ready」 - アプリケーションは正常に動作しています • 「failed」 - アプリケーションが永続的な失敗状態にあります • 「復元中」 - アプリケーションはバックアップまたはスナップショットから復元されています • 「unavailable」 - アプリケーションは現在アクセスできません • 「不明」 - アプリケーションの状態を判断できません • 「削除中」 - アプリケーションは削除処理中です

Name	を入力します	必須	説明
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、特定の定義済み状態からの許可された状態遷移のセットを表します。各JSONオブジェクトには「from」と「to」というフィールドが含まれており、「from」の値は状態の名前、「to」の値は許可された宛先状態の配列です。
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）をリストしたJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	False	アプリケーションの保護状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「保護されています」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠しています • 「部分的」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「なし」 - アプリケーションには保護ポリシーが定義されていません • 「atRisk」 - クラスターのデフォルトのストレージクラスはスナップショットをサポートしていないため、アプリケーションはサポートされていないボリュームを取得するリスクがあります
protectionStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の保護状態に関する詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）を一覧表示するJSONオブジェクトのJSON配列。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
appDetectedType	string	False	検出された特定のアプリケーションの種類を一意に表すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「system」 - アプリケーションには、Kubernetes環境の一部であることを識別するリソースが含まれています。 「acc」 - アプリケーションには、それがAstra Control Centerインスタンスであることを識別するリソースが含まれています
ネームスペース	array[string]	False	アプリケーションが実行されている名前空間の名前を含むJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各オブジェクトは、クローン操作のソースネームスペースをデスティネーションネームスペースにマッピングします。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
storageClassMapping	配列 ["storageClassMapping"]	False	JSONオブジェクトのJSON配列。各JSONオブジェクトは、リスト処理のために、ソースストレージクラスをデスティネーションストレージクラスにマッピングします。要素が存在しない場合、または存在しない場合は、元のソースストレージクラス名が使用されます。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
clusterName	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。
clusterID	string	False	アプリケーションが実行されているクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在実行されていない場合は返されません。作成時に指定すると、clusterIDはアプリケーションをクローンするクラスタを示します。指定されたクラスタが存在しない場合、または指定されたクラスタがリクエストURIで指定されたclusterIDと一致しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
clusterType	string	False	クラスターの種類を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「gke」 - Google Kubernetes Engine (GKE) 上でホストされるKubernetes • 「aks」 - Microsoft Azure Kubernetes Service (AKS) 上でホストされるKubernetes • 「eks」 - Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) 上でホストされるKubernetes • "openshift" - クラスターのタイプはOpenShift • 「kubernetes」 - クラスターは汎用Kubernetesです

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のアプリケーションからクローンされた場合、またはバックアップやスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定される場合、sourceAppIDはsourceClusterIDと組み合わせて使用され、どの実行中のアプリケーションがクローンされるかを示します。指定されたアプリケーションが指定されたソースクラスタ上に存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterName	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタの名前を含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	False	アプリケーションが以前実行されていたクラスタのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが別のクラスタからクローニングされた場合にのみ返されます。作成時に指定した場合、sourceClusterIDはsourceAppIDと組み合わせて使用され、クローニングするアプリケーションのソース クラスタを示します。指定したソース クラスタが存在しない場合、クローンは失敗します。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backupID	string	False	アプリケーションが復元されたバックアップのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがバックアップから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定する と、backupIDはアプリケーションが既存のバックアップからクローンされることを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、クローン作成は失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、backupIDは、アプリケーションがインプレース復元されるアプリケーションバックアップを示します。指定されたバックアップが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションの更新時には、backupIDまたはsnapshotIDのいずれか一方のみを指定できます。定義済みの値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
snapshotID	string	False	アプリケーションが復元されたスナップショットのIDを含むJSON文字列。アプリケーションがスナップショットから復元された場合にのみ返されます。作成時に指定すると、snapshotIDは、アプリケーションが既存のスナップショットからクローンされることを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、クローンは失敗します。アプリケーションを作成する際に指定できるのは、sourceAppID、backupID、snapshotIDのうちいずれか1つだけです。置換時に指定される場合、snapshotIDは、アプリケーションがその場で復元されるアプリケーションのスナップショットを示します。指定されたスナップショットが存在しない場合、復元は失敗します。アプリケーションを更新する際には、backupIDとsnapshotIDのどちらか一方のみを指定できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
replicationSourceAppID	string	False	このアプリケーションに複製されるアプリケーションのIDを含むJSON文字列。アプリケーションが現在AppMirror関係のデスティネーション クラスタであり、その関係がfailedOver状態でない場合にのみ返されます。関係がfailedOver状態の場合、このフィールドは返されません。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
restoreFilter	"restoreFilter"	False	選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-app",
```

```
"version": "2.2",  
"name": "mysql-old"  
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the app resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{  
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",  
  "title": "Missing bearer token",  
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",  
  "status": "401"  
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

GVK

Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。

- このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

clusterScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
GVK	"GVK"	False	Kubernetesのグループ/バージョン/種類を含むJSONオブジェクト。 • このオブジェクトは、Astra/apiResourcesに対して内部的に検証されます。

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	クラスタ内のクラスタスコープGroupVersionKinds (GVK) のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、クラスタ上のすべてのGVKインスタンスが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

namespaceScopedResources

Name	を入力します	必須	説明
namespace	string	False	アプリケーションが定義されている名前空間の名前を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	名前空間内のラベルセクタを表すJSON文字列のJSON配列。これが空の場合、名前空間内のすべてのリソースが含まれます。この配列の各要素はKubernetesラベルセクタ文字列であり、それらの値に関する文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app != mysql"] — 名前が app で値が mysql ではないラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app in (mysql, mariadb)"] — 名前が app で値が mysql または mariadb であるラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["app notin (nginx, wordpress)"] — 名前が app で値が nginx または wordpress であるラベルを持たないすべてのリソースを選択します • ["app"] — app という名前のラベルを持つすべてのリソースを選択します • ["!app"] — app という名前のラベルを持たないすべてのリソースを選択します。複数の選択演算子をカンマで区切って1つのセクタに含めることができます。に注意してください。その場合、個々の選択演算子の結果はAND 演算されます

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	False	ソース クラスタ上のネームスペース名を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
を参照してください。	string	False	デスティネーション クラスタ上のネームスペースの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：253 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

storageClassMapping

Name	を入力します	必須	説明
ソース	string	False	ソースストレージクラスの名前を含むJSON文字列。すべてのソースストレージクラスを指定する場合は、「*」を指定することもできます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • Storage Class名が使用されている場合、DNS 1123 Label Schemaに準拠します • '*' を指定してすべてのストレージクラスを指定します
を参照してください。	string	False	デスティネーション ストレージ クラスの名前を含む JSON 文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠

GVKN

Name	を入力します	必須	説明
グループ	string	False	Kubernetesによって割り当てられたグループ識別子を含むJSON文字列。 • この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されます

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	False	Kubernetesによって割り当てられたバージョン識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
種類	string	False	Kubernetesによって割り当てられた種類識別子を含むJSON文字列。 この文字列は内部的にAstra/apiResourcesに対して検証されません
ネームスペース	array[string]	False	リソースを含めるか除外するかを指定する名前空間を記述するJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63 - DNS 1123 Label Schemaに準拠
名前	array[string]	False	選択的復元を含めるか除外するかを指定するKubernetesリソース名を記述したJSON文字列のJSON配列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：253 - DNS 1123 Label Schemaに準拠

Name	を入力します	必須	説明
labelSelectors	array[string]	False	選択的リストアからリソースを含めるか除外するかを決定するために使用されるKubernetesラベルセレクタを記述するJSON文字列のJSON配列。この配列の各要素はKubernetesラベルセレクタ文字列であり、それらの値に対して同じ文法に従います。例： • ["app=mysql"] — 名前が app で値が mysql のラベルを持つすべてのリソースを選択します。その他の例はこちらをご覧ください： https://kubernetes.io/docs/concepts/overview/working-with-objects/labels/#set-based-requirement

restoreFilter

選択的復元操作に含めるリソースと除外するリソースを記述するフィルタのリストを含むJSONオブジェクト。含める設定と除外設定は相互に排他的であり、選択的復元ではいずれか一方のフィルタしか使用できません。

Name	を入力します	必須	説明
resourceSelectionCriteria	string	True	リソースフィルターがリソースを選択する方法を示す値を含むJSON文字列。有効な値は include または exclude です。

Name	を入力します	必須	説明
GVKN	配列["GVKN"]	True	選択的復元時にフィルタリングするリソースを記述するJSONオブジェクトのJSON配列。指定されたすべてのフィルタフィールドが対応するリソースフィールドと一致する場合、そのリソースは単一のGVKNフィルタ要素に一致します。配列であるフィルタフィールド（例えば、名前空間や名前）は、その要素のいずれかが対応するリソースフィールドと一致する場合に一致します。labelSelectorsフィールドでは、すべてのセクタが一致する必要があります。GVKNフィルタオブジェクトの配列内のいずれかのフィルタに一致するリソースは、resourceSelectionCriteriaの値に基づいて復元に含まれるか除外されます。空のGVKNオブジェクトを指定すると、検証エラーが発生します。

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	

Name	を入力します	必須	説明
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

アプリを削除する

DELETE /accounts/{account_id}/k8s/v2/apps/{app_id}

指定されたアプリAPIリソースを削除します。

副作用

- アプリケーションがまだクラスタ上で実行されている場合、そのアプリケーションは管理対象外とみなされ、/apps の下には表示されなくなります。
- まず、アプリケーションは削除状態に移行し、関連するすべてのスケジュール、スナップショット、バックアップ、および保存されているアプリケーション状態を削除します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	一覧表示するアプリコレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the app resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

応答

Status: 500, Internal server error

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/91",
  "title": "Application not deleted",
  "detail": "The application wasn't deleted because of an internal
server issue.",
  "status": "500"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/112",
  "title": "Application not ready",
  "detail": "The application is currently unavailable.",
  "status": "409"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。